

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部・研究科における国際交流方針を策定（設定）する。	→国際交流方針の明示（2013年度までに）。	C	C	C	C	/
2. 策定（設定）した国際交流方針に基づいて、新たな国外協定大学を開拓し、既存の協定大学との新たな展開を図る。	→新規および新たな展開を図った協定大学数（2013年度までに2大学を目指す）。	C	C	B	B	/
3. 全学的な学生交換制度や外国大学プログラムの利用促進を図る。	→留学生派遣および受け入れ人数。外国大学プログラムへの参加学生数。	B	B	B	A	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	国際交流は、将来構想委員会（学部）において検討項目に挙げられている。まずは既存の海外協定校との取り組みを充実させるという大枠の了解は得られているが、未だ具体的な方針を示すには至っていない。2012年度に主だった進捗はないが、国際交流の方針設定に向けて学部、研究科ともに動き始めている。この目標1は、後の目標2、3を図っていく上で前提となるものであり、2013年度中に策定する。
目標2	学術文化交流として、ベルン大学神学部（スイス）および監理教神学大学校（韓国）と学部間（あるいは学部－大学間）協定を締結している。監理教神学大学校については、加えて2010年度に大学間における学生交換協定を締結するに至り、今後はその派遣・受け入れの実績を重ねる必要がある。ベルン大学についても同様の検討を行っているが、諸処の事情から進捗をみていない。ただし、両校ともに、毎年スタッフが訪問を重ねている。客員教員については2011年度に2名の招聘（ベルン大学教授 [スイス]）を行った。2012年度については、スタッフ訪問（ベルン大学神学部、監理教神学大学校とも）のみであるが、引き続き良好な関係が築かれている。
目標3	海外研修については、申込者数・実参加者数ともに、年々増加しており、一定の浸透をしているものと考えている。2010年度：英語1名およびドイツ語2名、2011年度：英語1名、中国語1名、朝鮮語1名、2012年度：英語2名、ドイツ語1名、インドネシア交流セミナー1名、2013年度予定：インドネシア交流セミナー1名、英語中期留学1名。また、学部生の交換留学については近年実績がないが、修得単位認定に関する事など相談件数は増加している。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【神学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	2	2	2	2	2	2	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	2	2	2	2	2	2	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—		
		外国人留学生	正規	人	1	1	0	0	0	1	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	—	—	—	—	—	—	・累計数 ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.8	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	1	1	3	3	3	3	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.8	0.7	2.2	2.3	2.3	2.3	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	0	0	0	2	0	0	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	0	0	1	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	6	3	4	4	1	1	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	0	0	0	0	0	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	—	8.3	9.1	9.0	10.0	9.1	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)